

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【公開番号】特開 2010-233254 (P2010-233254A)
 【公開日】平成 22 年 10 月 14 日 (2010.10.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-041
 【出願番号】特願 2010-153508 (P2010-153508)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/235 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/235

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/91 J

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 2 月 9 日 (2011.2.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】動画再生装置及びそのプログラム

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 1】

本発明は、動画再生装置及びそのプログラムに関する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 5】

そこで本発明は、かかる従来の問題点に鑑みてなされたものであり、動画の連続性と、動画及び静止画の品質を担保する動画再生装置及びそのプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 5】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 7
【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上記目的達成のため、請求項1記載の発明による動画再生装置は、動画撮影に適した露光条件で繰り返し行なわれる撮像に対して、繰り返し割り込ませるように、静止画撮影に適した露光条件での撮像を繰り返し行なわせて得られた複数の静止画データが関連付けられて記録された該動画撮影に適した露光条件で繰り返し撮像された動画データを再生する動画再生装置であって、

ユーザーによる所定の操作に応じて、前記動画データを再生中に一時停止を指示する指示手段と、

前記指示手段による指示があると、該指示があったときに再生されていた動画データ中の動画フレームに対応する、関連付けて記録された静止画データを表示手段に表示させる表示制御手段と、

を備えたことを特徴とする。

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

上記目的達成のため、請求項2記載の発明によるプログラムは、動画撮影に適した露光条件で繰り返し行なわれる撮像に対して、繰り返し割り込ませるように、静止画撮影に適した露光条件での撮像を繰り返し行なわせて得られた複数の静止画データが関連付けられて記録された該動画撮影に適した露光条件で繰り返し撮像された動画データを再生する動画再生装置を、

ユーザーによる所定の操作に応じて、前記動画データを再生中に一時停止を指示する指示手段、

前記指示手段による指示があると、該指示があったときに再生されていた動画データ中の動画フレームに対応する、関連付けて記録された静止画データを表示手段に表示させる表示制御手段、

として機能させることを特徴とする。

【手続補正 20】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

動画撮影に適した露光条件で繰り返し行なわれる撮像に対して、繰り返し割り込ませるように、静止画撮影に適した露光条件での撮像を繰り返し行なわせて得られた複数の静止画データが関連付けられて記録された該動画撮影に適した露光条件で繰り返し撮像された動画データを再生する動画再生装置であって、

ユーザーによる所定の操作に応じて、前記動画データを再生中に一時停止を指示する指示手段と、

前記指示手段による指示があると、該指示があったときに再生されていた動画データ中の動画フレームに対応する、関連付けて記録された静止画データを表示手段に表示させる表示制御手段と、

を備えたことを特徴とする動画再生装置。

【請求項 2】

動画撮影に適した露光条件で繰り返し行なわれる撮像に対して、繰り返し割り込ませるように、静止画撮影に適した露光条件での撮像を繰り返し行なわせて得られた複数の静止画データが関連付けられて記録された該動画撮影に適した露光条件で繰り返し撮像された動画データを再生する動画再生装置を、

ユーザーによる所定の操作に応じて、前記動画データを再生中に一時停止を指示する指示手段、

前記指示手段による指示があると、該指示があったときに再生されていた動画データ中の動画フレームに対応する、関連付けて記録された静止画データを表示手段に表示させる表示制御手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。